

研究成果及び活動一覧 (2005. 1. 1~12. 31) [五十音順]

- A : 著書、論文、書評など
 B : 学会での口頭発表その他の活動
 C : 講演、論説など
 D : 学術的調査

井川健司

B : 1 平安朝文学研究会委員会委員 (再任)

D : 1 茶道速水流鼻祖関係資料調査

- (1) 岡山藩 (池田治政) 茶堂役任命公文書の所在判明 (従来、存在不詳。宗達茶堂説あり。その裏付け) 1. 9-1. 12
- (2) 岡山県立博物館にて宗達の著書探査。写本類の存在確認。但し、『點茶諸説』発見できず。3. 26-3. 31
- (3) 就実大学図書館柴田文庫調査。新資料行方不明。3. 26-3. 31
- (4) 堀河古義堂文庫蔵「伊藤東所宛速水宗達書翰」翻字本文との校合 3. 30

井上英明

- A : 1 (単行著書)『古代物語主人公の研究』非売品、461 ps. 2. 28.
 2 (論文)「漂泊の文学——日本古代物語文学の主人公——」明星大学日本文化学部共同論集、第八輯。責任編集、和田正美、刊行責任者、井上英明 pp. 297-321, 3. 20.
 3 (論文)「日本人の〈フランダースの犬〉」明星大学研究紀要、日本文化学部・言語文化学科第13号、pp. 73-84、3. 25.
 4 (単行著書)『列島の古代文学——比較神話から比較文学へ——』風間書房、465 ps. 4. 15.
 5 (英文論文) 'The Truth in Pattern of Oral Tradition', (ACTA ASIATICA, Bulletin of the Institute of Eastern Culture, 89.) pp. 1-18. 8.
 6 (英文論文) 'A Truthfulness to the Imaginative Patterns of Heroic Life in the Oral Tradition', (Transactions of the International Conference of Eastern Studies), No. L, 2005, 12. 5.
- B : 1 (学会口頭発表)「伝承の型における真実」第50回国際東方学会会議、シンポジウム V、テーマ漂泊者の文学、Japanese Literature of Wandering and Itinerancy, 於日本教育会館、5. 20.
 2 (学会司会) 山口博「死せる若き天の御子の物語——メソポタミヤ神話からアメワカヒコ神話へ——」日本比較文学会東京支部例会、7. 16.
 3 (学会活動) 日豪ニュージーランド教育文化学会 (JANTA) 会長。
 4 (学会活動) 全国大学国語国文学会常任理事。同学会機関誌「文学・語学」編集長。
 5 (学会活動) 東方学会 (評議員、国際東方学会会議運営委員、日本文学セミナー常任委員)。

- 6 (学会活動) 日本文体論学会常任理事。
- 7 (学会活動) 日本比較文学会東京支部幹事。

- C : 1 (講演)「漂泊者の文学」於佐倉国際文化大学、5.28.
- 2 (講演)「源氏物語と〈世界文学〉」中京大学国文学会、於中京大学、11.20.
 - 3 「源氏物語・〈幻〉の巻——光源氏の終焉——」源氏物語研究会、於パルテノン多摩、5.19、7.3、17、3回。
 - 4 (随想)「学者佐佐木茂美先生」明星大学紀要(日本文化学部・言語文化学科第13号) pp.1-3、3.25.
 - 5 (講演)「海を渡った源氏物語～光源氏の変貌」明星大学青梅キャンパス、公開講座、10.15.
 - 6 (随想)「日々雑感」「わせだ国文ニュース」第83号、11.10、pp.4-5.
- D : 1 (学術調査) 広島県下蒲刈町「松濤園」の旧有川邸、朝鮮通信使節資料館での調査。12.5.

岡田恒雄

- B : 1 研究発表：マリウス・フォン・マイエンブルクの戯曲『エルドラド』、ドイツ戯曲研究会、早稲田大学国際会議場会議室2、5.21.
- 2 研究発表：ハイナー・ミュラー演出『アルトゥロ・ウイの興隆』(ベルリーナー・アンサンブル上演)について、ゲストウスの会、劇団展望アトリエ、8.21.
- D : 1 明星大学歌舞伎講座「歌舞伎とシェイクスピア」(第一部 東も西も芝居の心は一つなり、第二部 歌舞伎『曾根崎心中』より)の企画(コーディネーター)、明星大学日野校シェイクスピアホール、3.12.
- 2 早稲田大学演劇博物館のCOE研究グループ「ドイツ・ヨーロッパ演劇博物館研究グループ」派遣団の研究協力者としての交流・研究活動、
3月17-23日：ケルン大学演劇博物館(演劇学文庫)
7月21-30日：ケルン大学演劇博物館(演劇学文庫)
 - 3 明星大学演劇講座「シェイクスピアとオペラと歌舞伎—マクベスと光秀 洋の東西に見る反逆のドラマ」(第一部 マクベス シェイクスピアからヴェルディへ、第二部 歌舞伎『馬壘の光秀』について、第三部 オペラ『マクベス』より ハイライトシーンの実演)の企画(コーディネーター)、明星大学日野校シェイクスピアホール、10.15.

勝又 基

- A : 1 (論文)「孝子説話としての『本朝二十不孝』」、木越治 [責任編集]「西鶴 挑発するテキスト」、pp.259-268、至文堂、3.15
- 2 (解説)「江戸時代の文学① 滝の本連水と勝俣文庫」、「広報みしま」962、pp.23、

- 三島市、9.30
- 3 (解説)「江戸時代の文学② 江戸文学に描かれた三島」、「広報みしま」963、pp. 19、三島市、10.31
 - 4 (報告)「(北陸古典研究会 20周年記念シンポジウム)参加の記」、「北陸古典研究」20、pp. 121-122、北陸古典研究会、10.31
 - 5 (解説)「江戸時代の文学③ 新発見の小説『敵討田前豪傑伝』」、「広報みしま」964、pp. 31、三島市、11.30
 - 6 (論文)「『草庵稿』翻刻と解題」、雅俗の会 [編]『中野三敏先生古稀記念資料集 雅俗文叢』、pp. 391-419・727-735、汲古書院、12.10
- B : 1 国文学研究資料館研究プロジェクト「近世後期小説の様式的把握のための基礎研究 (代表 大高洋司) 研究分担者
- 2 国文学研究資料館文献調査員 (三島市郷土資料館勝俣文庫)
- C : 1 (講演)「江戸時代の親孝行と静岡」、みしま教養セミナー 於三島市民生涯学習センター、6.18
- 2 (監修) 展示「江戸時代の小説 ～佐野・勝俣文庫から～」、三島市郷土資料館、9.23～翌1.15
- 3 (講演)「源氏物語と江戸文化 ～雅と俗に生きる古典～」、第27回明星大学公開講座「源氏物語を読むために ～文学とその周辺～」第3回、10.29
- 4 (講演)「勝俣文庫について」および展示解説、三島市文化会館大会議室・三島市郷土資料館、11.26
- D : 1 国文学研究資料館文献調査委員として三島市郷土資料館勝俣文庫文献資料調査、1.28・2.15・3.1・8.17～20・8.23・8.25～27・9.2～4・9.6～8
- 2 日本文化演習 IIB (通年) で、『西鶴諸国ばなし』を学生とともに読んだ。そのさい情報科学研究センターの協力を得て携帯電話ウェブサイトを作成。学生が相互に評価するシステムを構築して活用した。

加藤めぐみ

- A : 1 “The Representations of the Japanese in Contemporary Australian Literature”、『明星大学研究紀要』日本文化学部・言語文化学科、pp. 71-92、3.25.
- 2 書評:「有満保江 [著]『オーストラリアのアイデンティティ文学にみるその模索と変容』」、『オーストラリア研究』第17号、pp. 86-88、オーストラリア学会、3.25.
- 3 「マイノリティの文学—小説と自伝を中心に」、『オーストラリアのマイノリティ研究』、早稲田大学オーストラリア研究所編、pp. 82-96、オセアニア出版、3.31.
- 4 『20世紀英語文学辞典』、上田和夫、渡辺利雄、海老根宏編オーストラリア作家・事項 (83項目)、研究社、10.1.

- 5 “Typical Evil?: The Japanese Represented in Australian War Writing”, *Beyond Good and Evil?: Essays on the Literature and Culture of the Asia-Pacific Region*, ed. Dennis Haskell, Megan McKinlay and Pamina Rich, pp. 65-78, Crawley, WA: University of Western Australia Press, 12. 1.
 - 6 “Representations of Japan and Japanese People in Australian Literature”、博士論文、The University of New South Wales 受理、The Ria de Groot Award 受賞、12. 7.
- B : 1 学会シンポジウム：「オーストラリア文学とアジア」、*“Australian Culture: Surviving the 21st Century”*、第16回オーストラリア学会全国研究大会、同志社大学、6. 12.
- 2 オーストラリア学会理事
 - 3 オーストラリア・ニュージーランド文学会『南半球評論』第20、21号編集委員
- D : 1 「多文化社会オーストラリアの現代文学に観る日本人像について」(科学研究費基盤研究C-2)：オーストラリア、シドニー及びキャンベラにおいて資料収集、研究打ち合わせ、3. 8-13.
- 2 「戦争・市民・ネイション—オーストラリアにおける太平洋戦争の体験と公的記憶の位相」(りそなアジア・オセアニア財団共同研究)：オーストラリア、ブリズベン及びダーウィンにおいて資料収集、8. 1-8.

古田島洋介

- A : 1 講演要旨：「関於心的教育・靈魂教育」〔中国語〕、台湾全国教育会「師説」第184期 p. 63、2. 1.
- 2 論文：「潘飛声『伯林竹枝詞』簡注(初稿)——鷗外と同時期にベルリンを見た中国人」、明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第八輯『批評と創作』〔編集責任者〕和田正美、明星大学日本文化学部 pp. 96-144、3. 20.
 - 3 著書：『大正天皇御製詩の基礎的研究』、明德出版社、340ps.、3. 25.
 - 4 論文：「漢文訓読における送り仮名——体系的説明の試み——」、明星大学紀要「日本文化学部言語文化学科」第13号、pp. 15-39、3. 25.
 - 5 講演録：「漢文訓読——国語科教育としての再生」、平成15～16年度科学研究費補助金(基盤研究C2)研究成果報告書『受験用古典からの脱却を図る新しい時代における教養教育としての古典教育に関する研究』(課題番号：15530570/研究代表者：寺井正憲)、pp. 3-19、3. x.
 - 6 論文：Soshibun—A Traditional Literary Concept in East Asia; *Intercultural Explorations*, edited by Eugene Eoyang, vol. 8 of the Proceedings of the 15th Congress of the ICLA “Literature as Cultural Memory”, Leiden 16-22 August 1997, *Studies in Comparative Literature* 32, Rodopi B. V., Amsterdam-New York, 2005, pp. 171-182

- 7 随筆：「大澤吉博先生追悼文」、「比較文学研究」第 86 号、pp.153-155、11.7.
- B : 1 学会発表：「日韓両国の近代における漢文の運命」、韓国日本学会第 70 回国際学術大会、ソウル市・高麗大学校、2.19.
- 2 学会発表：「日本漢詩文の衰亡曲線」、東アジア比較文化国際会議日本支部第 7 回大会、成城大学、6.11.
- 3 学会発表：「日本文学研究の陥穽」、北京日本学研究センター設立 20 周年記念国際学術シンポジウム、北京市・北京日本学研究センター、10.15.
- 4 研究会講師：「現行返り点法の要領」、篁暉会（東京大学名誉教授：竹田晃氏主宰／漢文訓読研究会）月例研究会、法政大学、11.19.
- 5 シンポジウム発表：「大正天皇と漢詩」、シンポジウム「往還と沈潜——日中文化相互受容の再構築」、国際日本文化研究センター、11.26.
- 6 学会講演：「東アジアにおける国際理解の現状と課題」〔日本語＋中国語〕、第 30 回日台教育研究会、オリンピック記念青少年センター、12.24.
- C : 1 スクーリング講師：「漢文学 B：漢文訓読法の基礎と実践」、法政大学通信教育部 2005 年度夏期教室授業第 1 群、法政大学、7.21-27.
- 2 小講義：「大正天皇の漢詩制作——謬見是正の試み——」、明星大学育星会青梅校懇談会、9.17.
- D : 1 学術調査：潘飛声《説剣堂集》(狩-4-14967-6) の閲覧・調査、東北大学附属図書館 1.26-28.

佐々木滋

- A : 1 「一日の四風景」G. C. リヒテンベルク著の翻訳、明星大学研究紀要—造形芸術学科、第 13 号、3.25.
- B : 1 演題「ユダヤ人とアメリカ合衆国」、ロータリークラブ佐久支部、コスモ・ロータリー主催定例講演会、於一万里ホテル、5.30.

柴田雅生

- A : 1 (短文)「狂言のことば——台本に見る変遷を一例として——」、明星大学伝統芸能体験教育『狂言の会』(於明星大学シェイクスピアホール)パンフレット、p.7-8、3.5
- C : 1 (講演)「平安時代の言葉と源氏物語——王朝人はどのように話したか」、明星大学青梅校第 27 回公開講座 総合テーマ「源氏物語を読むために～文学とその周辺～」、11.5

正慶 孝

- A : 1 著書『IT時代のライフ・スタイル宣言——新しい未来社会の展望』、清流出版、平成17年10月17日、360ページ。
2 論文「隠喩としての経済学」、明星大学日本文化学部共同論集『批評と創作』、平成17年3月20日、pp.54-95。
3 論文「第一人称単数の社会へ向けて」、明星大学日本文化学部言語文化学科紀要、平成17年3月25日、pp.103-117。
4 論文「『二一世紀文明の大変化』は、いま始まったばかり、“IT産業”はこれからどんな役割を果たすのか」、『ニューリーダー』、平成17年12月号、平成17年12月1日、pp.40-44。
- B : 1 第9回国際教育シンポジウム「グローバル時代と日本人」、パネラー、平成17年1月29日、於霞山会館、東京学芸大学主催。
2 東京学芸大学国際教育研究プロジェクト「日本人のアイデンティティ」研究活動、平成17年4月-現在。
- C : 1 談話記事「ライバル対決戦闘状況とそのゆくえ」、『ダカーポ』559号、平成17年5月4日。
2 談話記事「経済の重要局面を一発で理解するためのキーワード」、『ダカーポ』562号、平成17年6月15日。
3 談話記事「土曜茶論」掲載、平成17年6月25日付、『読売新聞』（夕刊）。
4 対談記事「歴史再発掘」（藤原肇氏）、(上)、『ニューリーダー』、平成17年8月号、同年8月1日。
5 対談記事「歴史再発掘」（藤原肇氏）、(中)、『ニューリーダー』、平成17年9月号、同年9月1日。
6 対談記事「歴史再発掘」（藤原肇氏）、(下)、『ニューリーダー』、平成17年10月号、同年10月1日。
7 対談記事「賢く生きる」（藤原肇氏）、『財界にっぽん』、平成17年10月号、同年10月1日。

田村良平（筆名・村上湛）

- A : 1 論文：「立花と能」、『国立能楽堂』3月号、pp.26-28、独立行政法人国立能楽堂、3.2。
2 論文：「〈大黒風流〉の制作と批評……平成十七年一月・梅若会定式能上演報告を中心に」、『明星大学日本文化学部編・明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集・第八輯～批評と創作』、pp.354-370、3.20
3 論文：「能の身体・さまざまな身体—古典劇批評の立場から」、『國文學（特集：能—歴史と身体）』7月号、學燈社、pp.139-145、7.10
4 論文：「復曲〈鐘巻〉について」、『国立能楽堂11月特別企画公演・能と神楽』、pp.

-
- 14-15、独立行政法人国立能楽堂、11.10
- 5 評論：「東都役者顔見世～11月の能・狂言」、『能楽タイムズ』1月号、能楽書林、1.1.
- 6 評論：「三輪渾沌～3月の能・狂言」、『能楽タイムズ』5月号、能楽書林、5.1.
- 7 評論：「学藝会の〈原爆忌〉～8月の能・狂言」、『能楽タイムズ』10月号、能楽書林、10.1.
- 8 評論：「野村万作の転機」、『新能楽ジャーナル』27号、pp.4-7、たちばな出版、1.1.
- 9 評論：「却来花・近藤乾之助」、『新能楽ジャーナル』28号、pp.4-7、たちばな出版、3.1.
- 10 評論：「友枝昭世の旅路」、『新能楽ジャーナル』29号、pp.4-7、たちばな出版、5.1.
- 11 評論：「能・狂言～いろいろな上演空間の意義」、『新能楽ジャーナル』30号、pp.4-7、たちばな出版、7.1.
- 12 評論：「梅若六郎の変貌」、『新能楽ジャーナル』31号、pp.4-7、たちばな出版、9.1.
- 13 評論：「老女游心～〈姨捨〉の佐野萌」、『新能楽ジャーナル』32号、pp.4-7、たちばな出版、11.1.
- 14 評論：「政頼をめぐる」、『山本会別会パンフレット』、10.30.
- 15 評論：「〈三輪・神遊〉について」、『塩津哲生の会パンフレット』、10.8.
- 16 評論：「六郎・万作・萬斎の『いま』」、『第24回日比谷シティ夜能パンフレット』、10.13.
- 17 評論：「能〈檜垣〉の『いま』」、『大槻文蔵の会パンフレット』、11.26.
- 18 随想：「不老閣御前能陪観の記」、『中外日報』、6.14.
- 19 随想：「『あかり』と能」、『横浜能楽堂特別企画公演・あかり夢幻能パンフレット』、10.10.
- 20 聞書：「この人に聞きたい～狂言師・高澤祐介（続）」、『新能楽ジャーナル』27号、p.18、たちばな出版、1.1.
- 21 聞書：「この人に聞きたい～シテ方・片山清司」、『新能楽ジャーナル』28号、p.18、たちばな出版、3.1.
- 22 聞書：「この人に聞きたい～シテ方・片山清司（続）」、『新能楽ジャーナル』29号、p.18、たちばな出版、5.1.
- 23 聞書：「この人に聞きたい～シテ方・狩野了一」、『新能楽ジャーナル』30号、p.18、たちばな出版、7.1.
- 24 聞書：「この人に聞きたい～シテ方・狩野了一（続）」、『新能楽ジャーナル』31号、p.18、たちばな出版、9.1.
- 25 聞書：「この人に聞きたい～太鼓方・観世元伯」、『新能楽ジャーナル』32号、p.18-19、たちばな出版、11.1.
- 26 聞書：「藝を語る～田中康盟×安藤政輝×富田清邦」、『第19回富田清邦地歌箏曲演

- 奏会パンフレット』、4.3.
- 27 解説：「能〈大社・神子神楽〉・能〈葵上・梓之出・空之祈〉」、『国立能楽堂』1月号、pp.25-27、独立行政法人国立能楽堂、1.5.
- 28 解説：「狂言〈横座〉・能〈高野物狂〉」、『国立能楽堂』2月号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、2.9.
- 29 解説：「実演立花・能〈西行桜・素囃子〉」、『国立能楽堂』3月号、pp.16-17、独立行政法人国立能楽堂、3.2.
- 30 解説：「狂言〈墨塗〉・能〈雲林院〉」、『国立能楽堂』4月号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、4.9.
- 31 解説：「狂言〈隠狸〉・能〈右近〉」、『国立能楽堂』5月号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、5.11.
- 32 解説：「狂言〈文蔵〉・能〈千手〉」、『国立能楽堂』6月号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、6.1.
- 33 解説：「狂言〈附子〉・能〈藤戸〉」、『国立能楽堂』7月号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、7.6.
- 34 解説：「狂言〈六地藏〉・能〈船橋〉」、『国立能楽堂』8月号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、8.3.
- 35 解説：「狂言〈寝音曲〉・能〈楊貴妃・臺留〉」、『国立能楽堂』9月号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、9.7.
- 36 解説：「狂言〈酒講式〉・能〈蟬丸〉」、『国立能楽堂』9月号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、9.7.
- 37 解説：「狂言〈萩大名〉・能〈玉井・貝尽〉」、『国立能楽堂』10月号、pp.6-7、独立行政法人国立能楽堂、10.5.
- 38 解説：「狂言〈清水〉・能〈定家〉」、『国立能楽堂』10月号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、10.5.
- 39 解説：「狂言〈無布施経〉・能〈巻絹〉」、『国立能楽堂』11月号、pp.6-7、独立行政法人国立能楽堂、11.2.
- 40 解説：「狂言〈太刀奪〉・能〈三井寺〉」、『国立能楽堂』11月号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、11.2.
- 41 解説：「復曲能〈鐘巻〉」、『国立能楽堂11月特別企画公演・能と神楽』、p.13、独立行政法人国立能楽堂、11.10.
- 42 解説：「狂言〈鬼の継子〉・能〈芭蕉〉」、『国立能楽堂』12月号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、12.7.
- 43 解説：「狂言〈柑子〉・能〈芦刈〉」、『国立能楽堂』12月号、pp.6-7、独立行政法人国立能楽堂、12.7.
- 44 解説：「狂言〈鎌腹〉〈月見座頭〉〈武悪〉～東次郎師の藝話を中心に」、『明星大学【伝統芸能体験教育】狂言の会パンフレット』、3.5.
- 45 解説：「狂言〈仏師〉・能〈小鍛冶・黒頭別習〉・狂言〈腰祈〉・能〈大般若〉」、『第24回日比谷シティ夜能パンフレット』、10.13.

-
- 46 解説：「舞囃子〈融・笏之舞〉・狂言〈鐘の音〉・能〈八島・大事・奈須与市語〉・舞囃子〈天鼓・盤渉〉・狂言〈六地藏〉・能〈土蜘蛛・入違之伝・問答入・ササガニ〉」、『至高の華パンフレット』、12. 11.
 - 47 評談：「能界展望～能評をめぐって (1)」、『新能楽ジャーナル』27号、pp. 13-17、たちばな出版、1. 1.
 - 48 評談：「能界展望～能評をめぐって (2)」、『新能楽ジャーナル』28号、pp. 13-17、たちばな出版、3. 1.
 - 49 評談：「能界展望～能評をめぐって (3)」、『新能楽ジャーナル』29号、pp. 13-17、たちばな出版、5. 1.

- B : 1 平成 17 年度芸術選奨推薦委員 (演劇部門)
- 2 平成 17 年度 (第 60 回記念) 文化庁芸術祭執行委員会執行委員・同審査委員 (舞踊部門)
 - 3 平成 17・18 年度文化庁芸術創造活動重点支援事業等協力者会議委員 (舞踊部門)
 - 4 平成 18 年度独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会伝統芸能専門委員会専門委員
 - 5 表千家東京都青年部長
 - 6 『新能楽ジャーナル』編集委員
 - 7 梅若六郎・小田幸子・野村万作・野村萬斎の諸氏とともに〈大黒風流〉の台本校訂・舞台構成・演出等、制作監修を務める。(1. 9. 梅若会定式能において上演。翁：梅若六郎、三番叟：野村万作、風流シテ：野村萬斎)
 - 8 明星大学【伝統芸能体験教育】狂言の会の企画・制作を務める。(3. 5. 日野校シェイクスピアホールにおいて公演。番組：馬場あき子「狂言雑話」、山本則俊〈鎌腹〉・山本東次郎〈月見座頭〉・山本則直〈武悪〉、馬場女史+東次郎氏+小子の鼎談「狂言のこころ」)
 - 9 国立能楽堂 3 月特別企画公演「花と能・室町に花開いた芸能」の制作助言を務める。(3. 24. 立花実演立調：岡田幸三、能〈西行桜・素囃子〉シテ：梅若六郎)
 - 10 「第 19 回富田清邦地歌箏曲演奏会」の制作助言を務める。(4. 3. 鏡仙会能楽研修所において公演)
 - 11 明星大学青梅校国際能楽シンポジウムの制作を努める。(4. 9. 青梅校において実施。内容：「講演」チュラロンコーン大学教授サオワラック・スリヤウォン女史、「シンポジウム」サオワラック女史+法政大学教授山中玲子女史+小子、「実演・奈須与市語」和泉流狂言師・高澤祐介氏、総合司会：古田島洋介本学教授)
 - 12 国立能楽堂の委嘱により、第 60 回記念文化庁芸術祭主催公演「神楽と能」にて、梅若六郎・小田幸子の諸氏とともに復曲能〈鐘巻〉の台本校訂・舞台構成・演出等、制作監修を務める。(11. 11. 国立能楽堂特別企画公演において上演。シテ：梅若六郎)
 - 13 上記 12 の公演関連行事として、公開稽古後の座談会司会 (10. 24.)、および民俗芸能大償神楽と復曲能〈鐘巻〉をめぐりるシンポジウムの司会 (11. 10.) を務める (会

場はいずれも国立能楽堂)

- 14 能楽劇〈夜叉ヶ池〉の上演台本作製・制作助言を務める。(10.29. 梅田藝術劇場、10.31. オーチャードホールにて上演。出演：梅若六郎・野村萬斎・小林十市・檀れい・英太郎ほか)
- C : 1 講演：「能楽鑑賞講座～2月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、1.26.
2 講演：「能楽鑑賞講座～3月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、2.23.
3 講演：「能楽鑑賞講座～4月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、3.23.
4 講演：「伊勢物語輪講」、鎌倉市立鎌倉文学館文学講座、3.1, 8, 24.
5 講演：「源氏物語を読むために・第5回：源氏物語と古典藝能～能になった女君」、明星大学青梅校公開講座、11.12.
6 講演：「能にえがかれた女たち」、国際ソロプチミスト大牟田チャリティー講演会、11.23.
- D : 1 日本文化演習IB(2年次)にて、『源氏物語』葵の巻を学生と共に読む。
2 学生有志を率いて大蔵流狂言方・山本東次郎家の曝涼を訪問、伝来の面・装束類を見学す。7.31.

服部 裕

- A : 1 「ペーター・ハントケの文学的想像力：『サント・ヴィクトワールの教え』が意味するもの」、明星大学研究紀要「日本文化学部・言語文化学科」第14号、Peter Handkes literarische Phantasie. Was "Die Lehre der Sainte-Victoire" bedeutet.
- D : 1 比較文化研究IIで学生を引率してヨーロッパ実地研修を実施する、7.21-7.29。(ミュンヘン大学、ダッハウ強制収容所跡地、ノイシュヴァンシュタイン城、パリ・ルーヴル美術館、ヴェルサイユ宮殿等を視察すると共に、ミュンヘン国立劇場でオペラ『ロメオとジュリエット』(Ch. グノー)を鑑賞する。)

林 雄介

- A : 1 「韓国における歴史資料所蔵機関の現状と課題—日本側研究者から見た視点」、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館アーカイブズ研究系[編]『国際シンポジウム「日韓近現代歴史資料の共用化へ向けて—アーカイブズ学からの接近」報告書』、pp.57-81、1.31.
2 書評：長田彰文著『日本の朝鮮統治と国際関係—朝鮮独立運動とアメリカ』、上智史学、50号、pp.101-105、5.11.
3 書評：徐栄姫著『大韓帝国政治史研究』、朝鮮史研究会会報、161号、pp.8-9、9.30

2 歴史科学協議会編集委員、年間

- D : 1 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：新庄ふるさと歴史センター（山形県新庄市）、秋田県立文書館、赤れんが郷土館（秋田県秋田市）において資料調査、3.3-3.5
- 2 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：県立対馬民俗資料館（長崎県対馬市）、大韓民国釜山市立図書館等において資料調査、7.14-7.19
- 3 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：北海道立文書館、北海道大学図書館、北海道開拓記念館等において資料調査、8.22-8.25
- 4 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：北海道立文書館において資料調査、11.3-11.6
- 5 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：大韓民国国史編纂委員会、国家記録院、明知大学等において資料調査および韓国人研究者との研究打合わせ、11.23-11.27

菱山覚一郎

- A : 1 「学校と地域社会の連携についての一考察—デューイの『コミュニティ』概念の意義と批評—」、明星大学日本文化学部編『批評と創作』（明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集 第八輯）、pp.273-293、3.20.
- 2 「戦後教育改革の評価をめぐる研究動向」、『戦後教育史研究』（第19号）戦後教育史研究センター、12.20.
- D : 1 昭和初期の民間教育運動について：南多摩地区の民間教育運動（教育科学運動との関連を中心に）、8.19-8.21.
- 2 小学生の子どもを持つ親の意識調査：下校時と放課後の遊び場所の安全に関する意識調査（平成17年度第2学期）、11.15-11.30

秀村研二

- A : 1 「チブ、門中と父系意識の変化—韓国のイエ」『アジア遊学』74号、勉誠出版、pp.21-31、4.20
- 2 「国と民族とキリスト教—韓国キリスト教とナショナリズム」『アジア遊学』81号、勉誠出版、pp.98-108、11.20
- B : 1 韓国・朝鮮文化研究会理事
- 2 財団法人春風宇学寮評議員
- C : 1 「結婚と離婚—現代韓国女性と揺れる伝統文化—」『青梅会報』26号（明星大学情報学部・日本文化学部育星会）、pp.37-41、3.15
- 2 「韓国の宗教」にいがた市民大学『韓流』の深層—韓国の人と文化』、10.11
- 3 「韓国社会とキリスト教」『月刊みんぱく』29巻12号（特集：韓国のクリスマス）、国立民族学博物館、pp.3-5、12.1

- D : 1 韓国社会における民俗文化の変容に関する文化人類学的調査・研究、大韓民国ソウル市、京畿道高陽市、京畿道坡州市、京畿道龍仁市、忠清南道瑞山市、8.20-9.12

深澤 清

- A : 1 R. S. Thomas : Silent God in Modern Technocracy、明星大学研究紀要（言語文化学科）第13号 p.63-70、3.25
2 「世紀末芸術批評—自己批評に真実をみるワイルド—」、『批評と創作』明星大学青梅校日本文化学部編 p.185-205、3.20

- B : 1 オスカーワイルド協会 幹事

- D : 1 ウェールズ大学図書館にて資料調査 8.31-9.7
2 国家試験 一般旅行業務取扱主任者受験指導 4.1-7.15（週1回）
3 野外活動学外研修 大学セミナーハウス 8.4-8.6 学内キャンプ 9.12-14
4 花園大学 禅文化研究所 12.20-21

丸山正義

- A : 1 翻訳：アンリ＝ルイ・ド・ラ・グランジュ『グスタフ・マーラー 5 過渡期、不安定、貧困、情熱、ヨーゼフィーネ・ポイスル、社会主義者・菜食主義者マーラー、リーピナーとの出会い（1878-1880）』明星大学紀要【日本文化学部・言語文化学科】第13号、pp.125~134、明星大学青梅校、3.25.
2 「貞操観念の変遷」—ベルエポックにおけるフランス女性の恋愛—、青梅会報第26号 pp.46-49、明星大学情報学部・日本文化学部育星会、3.15.

三木友理

- A : 1 「今、日中大学生の交流」日中会議15回、P6、10.3
B : 1 「チベット民族の心—ハダ—」 西藏文化研究会、発表 1.4
C : 1 世界銀行（IMF.）中国国家発展改革委員会の招聘を受け「中国投資環境フォーラム」に出席 5.28、5.29
2 「日本の大学の中国語中国文化教育について」五邑大学 公開講演、8.24
3 「日本の大学生の人生観について」 広東外語外貿大学 講演、8.28
D : 1 敦煌莫高窟の仏教芸術文化について現地調査、敦煌研究院において資料調査、7.30~8.8

三橋 正

- A : 1 「日本における神の数え方—神の助数詞「柱」の用法—」、『明星大学日本文化学部

- 共同研究論集・第八輯 批評と創作』所収、pp. 371-411、3. 20
- 2 「密教儀礼から神道論へ」、『東洋の思想と宗教』22号、pp. 77-92、3. 31
 - 3 『概説日本思想史』、ペリかん社、共著（第四章・第五章とコラム）、p. 34-57、4. 30
 - 4 「怨霊と伊勢斎王—六条御息所をめぐる—」、『人物で読む『源氏物語』』第7巻「六条御息所」勉誠出版、pp. 284-287、6. 10
 - 5 「死と穢—夕顔の死をめぐる—」、『人物で読む『源氏物語』』第8巻「夕顔」勉誠出版、pp. 292-294、6. 10
 - 6 「『麗気記』世界の形成と広がり」、『日本思想史学』37号、共著（2004年パネル（コーディネーター三橋）の内容）、pp. 51-79、9. 30
 - 7 「新刊紹介 野村育代著『仏教と女の精神史』」、『ジェンダー史学』創刊号、p. 131、10. 20
 - 8 「座談会 歴史文献としての『源氏物語』」、『人物で読む『源氏物語』』第3巻「光源氏II」勉誠出版、共著、pp. 348-383、11. 10
 - 9 「大仏造立と日本の神観念—神仏習合の多重性を探る—」、ザ・ブレイトブッダ・シンポジウム論集第三号『論集カミとほとけ—宗教文化とその歴史的基盤』法蔵館、pp. 29-47、12. 10
- B : 1 学会パネル発表「古代の天皇制と中世における“神道的”天皇観の成立（Ancient Emperorhip and the Formation fo a Middle Age “shinto” vision of the Tenno）」第19回国際宗教学宗教史学会パネル「神道における天皇観（“Shinto Perspectives on Emperorhip”）」（コーディネーター三橋）、品川プリンスホテル、3. 27
- 2 國學院大學 COE プロジェクト「神仏関係論の再検討」におけるコメンテーター、國學院大學、5. 28
 - 3 戒律文化研究会『戒律文化』第4号編集委員
- C : 1 「日本の歴史と仏教」、清泉女子大学ラファエラアカデミア、4. 16-12. 3（計5回）
- 2 「『源氏物語』と宗教儀礼」、明星大学青梅校公開講座、10. 22
- D : 1 学生希望者と世田谷美術館「祈りの道」展など見学、1. 13
- 2 学生希望者と福德寺阿弥陀堂・高山不動（常楽院）軍荼利明王像を調査、4. 15
 - 3 学生希望者と五日市市大悲願寺阿弥陀三尊像の調査、4. 21
 - 4 学生希望者と東京芸術大学「巖島神社国宝」展など見学、4. 23
 - 5 明星大学日本文化学部言語文化学科1年生オリエンテーションにおける東京国立博物館見学を立案・実施、5. 2
 - 6 「日本文化演習 IIC」「言語文化演習」の授業として武蔵御嶽神社の本尊（蔵王権現像）を拝観、5. 19-20
 - 7 「日本文化史」（1年生学科必修科目）における国分寺・東山道跡などの見学を実施、

5.20

- 8 岡山・香川・徳島・高知・愛媛・大分・福岡の仏教・神道史跡を調査、7.15-24
- 9 日光輪王寺宝物館にて『麗気記』調査、7.28-29
- 10 「日本文化演習 IIC」「言語文化演習」の授業として明星学苑八ヶ岳山荘で合宿、8.8-11
- 11 「日本文化研究 II」の授業で学生を引率して東北の史跡を見学、8.21-25
- 12 学生による雑誌『蝦蟇』の愛地球博取材に引率、9.12-14
- 13 青蓮院などの秘仏を調査、9.28-30
- 14 鳥取・島根の史跡調査、10.28-11.6
- 15 明星大学青梅校における国際シンポジウム「伊勢神宮と天皇」および座談会「外国から見た日本の神」を主催（司会進行）、発表者：Mark Teewen（オスロ大学）、曾根原理（東北大学）；Havens Norman（國學院大學）；Rosemarie Bernard（早稲田大学）、12.10
- 16 小右記講読会で『小右記』長和二年条を『御堂関白記』などと比較しながら読む
- 17 小右記講読会・読み直し会で『小右記』長元四年条の註釈（出版準備）作業を進める
- 18 大正大学総合佛教研究所神仏習合研究会で『麗気記』後半の諸巻の註釈（出版準備）作業を進める
- 19 『速水侑記念論文集』（仮称）編纂委員として研究会を開催し出版準備を進める

山下善明

- A : 1 「生活と人生——一つの存在論的差異として——」、『複雑系、諸学の統合を求めて』（統合学術国際研究所・編）、晃洋書房、p.73-104、4.10.
- 2 Vom Ursprung der Sprache——aus der Identität her gesehen, “Grenzgebiete der Wissenschaft” Bd. 54-3, Resch Verlag (Innsbruck), p. 235-259, 9.15.
- B : 1 「統合学の論理と原理のための倫理学的考察」、第三回国際統合学会合同研究会・講演及びシンポジウム、KKR ホテル熱海、12.28-29.
- 2 統合学術国際研究所研究員
- 3 多摩哲学会委員長及び同会研究誌『パレーシア』編集委員
- 4 NPO「場の研究所」理事
- D : 1 ドイツ語 IV において、独訳『百人一首』第五一首より終りまで読む。

山本陽子

- A : 1 (論文)「冷泉為恭と百人一首」『明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第八輯 批評と創作』pp.322-353、明星大学青梅校日本文化学部 3.20
- 2 (論文)「伴大納言絵詞鎮魂説の再検討—脇役の顔貌表現を中心に—」『明星大学研究紀要』〔日本文化学部・言語文化学科紀要〕第13号 pp.41-55、明星大学青梅校

3. 25

- 3 (論文)「後ろ姿の自画像について—歌川国芳の作品を中心に—」明星大学研究紀要〔日本文化学部・造形芸術学科紀要〕第13号 pp. 31-39、明星大学青梅校 3. 25
- 4 (報告書)(分担執筆)『仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書第三十二冊』「研究発表と座談会 神の姿をあらわす」2 研究発表「神社縁起の絵巻における神の表現」pp. 10-15、3 座談会「神の姿をあらわす」pp. 23-35、仏教美術研究上野記念財団助成研究所 3. 31

- B : 1 美術史学会常任委員(美術史学会論文賞選考委員) 1. 28
(7月東支部例会担当・運営・司会) 7. 23
- 2 日本宗教文化史学会(会計監査) 11. 26

- C : 1 (集中講義)「日本美術史(近世絵画後期) 於跡見学園女子大学 2. 15-18

- D : 1 (学術資料調査)茨城県立歴史館蔵『大嘗会図巻』於茨城県立歴史館 8. 17
- 2 (学術資料調査)聖衆来迎寺蔵「六道絵」於京都国立博物館 10. 14

和田正美

- A : 1 (論文)「人の生死を司るもの—フィクションの諸相について」明星大学日本文化学部共同研究論集第8輯『批評と創作』pp. 3-53 3. 20
- 2 (書評)「外国語・外国文学と日本人—斎藤兆史・野崎歓『英語のたくらみ、フランス語のたわむれ』を読んで」明星大学研究紀要〔日本文化学部・言語文化学科〕第13号 pp. 135-138、3. 25
- B : 1 明星大学日本文化学部共同研究論集第8輯編集責任者